

福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関名

名称：一般社団法人 福祉サービス評価機構 wellink
調査実施日：2020年2月12日、13日

②施設・事業所情報

名称：社会福祉法人 悠林舎 沖浜シーズ認定こども園	種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：林 弘子	定員（利用人数）： 95名
所在地：〒770-8051 徳島県徳島市沖浜町北川726-3	
TEL：088-653-5577	ホームページ：okic@seeds.or.jp
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日 平成29年4月1日（沖浜シーズ保育所としては、平成20年4月1日）	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人（悠林舎）	
職員数	常勤職員： 19 名 非常勤職員 8 名
専門職員	（専門職の名称）
	主幹保育教諭 1 名
	指導保育教諭 1 名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
ほふく室1、乳児室1、保育室4、一時預かり室1、リズム室1、事務室1、保健室1、会議室1、厨房1、等	
0、1、2歳児クラス及び一時預かり室は、床暖房	

③理念・基本方針

【教育・保育理念】
1、安心安全を保育の基本とします。
2、子どもの人権や主体性を尊重します。
3、保護者や地域社会と連携し、子どもの福祉を積極的に推進します。
4、地域における家庭支援を行います。
5、職員は、この理念を達成するため知識の習得と技術の向上に努めます。
【教育・保育目標】
1、すこやかなこども。
2、おもいやりのあるこども。
3、よくきき・かんじ・かんがえるこども。
4、いきいきとしたこども。
5、じぶんでやってみようとするこども。

④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none">・芸術士活動（絵画や彫刻の専門家に保育に入っただいて活動する）・外国人による英語を使った遊び・リトミック・資格を有したコーチによるサッカー・4、5歳児対象のスィミング・年二回開催のミニコンサート（身近で生演奏を楽しむ）・園全体で取り組む食育クッキング・園外保育・大塚美術館・芋ほり・いちご狩り・じゃがいも・たまねぎ・サツマイモほり等
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年1月（契約日）～2020年3月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	今回が初受審

⑥総評

☆特に評価の高い点

・理念、基本方針（保育目標）が明文化され周知が図られている。

園の教育・保育理念、教育・保育目標が適切に明文化されており、特に教育・保育目標については、子どもたちにも理解できるよう、ひらがな表記で示されている。教育・保育理念、教育・保育目標は、園内数か所に掲示されており、利用者や職員への周知ができている。また、園の利用者や地域関係機関に対しては、わかりやすく説明した資料を作成し入園説明会や保護者会総会等で口頭にて丁寧な説明をし周知が図られている。

・質の向上に向けた組織的な体制が整備されている。

園としての職員の教育・研修については、県や市の行政主催のキャリアアップ研修やスキルアップ研修はもちろんであるが、園内研修として外部講師による研修会や外部研修の報告を含む勉強会等を行い、職員一人ひとりが自己研鑽課題を持ち、日々の保育を実践している。また、職員（パート職員も含む）一人ひとりの経験や習熟度に配慮した教育・研修の機会が確保され、日々の保育についても、計画や実施状況について、職員等の参画のもと評価・見直しができている。さらに、日々の指導計画等関係書類については、園長・主任が定期的に評価・指導し、自己課題を明確にすることで、日々の教育・保育の向上に努めている。

☆質的向上として求められる点

・小学校や地域関係機関との連携、地域貢献

小学校との連携や、地域の福祉ニーズに答えようと、園が有する機能を地域に還元する等して積極的に地域貢献に関わりたいという体制は整っている。地域性や相手の意図や目的、学習内容等に配慮しなければならないことも考慮している。今後は、園の利用者が活用できる社会資源や地域の情報を収集し、園が利用者や地域にとって有効な情報発信を通じて、地域貢献への積極的姿勢、参入意欲を示し、地域の福祉ニーズを応援していくことを期待する。

・保育教諭の自己研鑽

2018年度に小学校以上の学習指導要領が、2019年度には幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂（改定）された。この改訂（改定）によって、子どもたち一人ひとりの18歳までの育ちを、すべての大人が責任を持って養育していくということが明文化された。「未来を生きる子どもたち」にとって、保育教諭は専門職としての自覚と責任を有する者として、常に自己研鑽を重ねながら子どもの最善の利益（幸せ）を保証する仕事であることを自覚し、日々、より良い保育を実践していくよう期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、初めて第三者評価を受診しました。当園の全職員及び入所・一時預かり利用者の全家庭へのアンケート実施があり、どのような結果が出るのか非常に不安でしたが、有難いことに保護者の方からは好意的な意見をたくさん頂いたということでも嬉しく思うと共に、職員にとっては自分たちの保育が認められたと実感することができ、今後の励みになったと思います。また、様々なご意見の中には、自分たちで気が付かずにしていたことや、何気ないことが保護者の方からは気になるのだということに気付かされ、とても良い機会となりました。同時に、当園の課題が明確になったことは、大きな収穫でした。今後、今回の結果をもとに年間計画を作成し、すべての職員が理解でき、共に考えられるような園にしたいと思っています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1(1)理念、基本方針が確立・周知されている。		評価結果
1	I-1-1(1)-①理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<評価コメント> ・園の教育・保育理念、教育・保育基本方針(保育目票)はホームページや入園のしおり、重要事項説明書等に明文化されており、職員、保護者等への周知が図られている。また園内各部屋に掲示されている。 ・また、途中入所、地域近隣の方々への、啓発のためにもパンフレットを作成するなど、さらに周知が図られるよう創意工夫を行っている。		

I-2 経営状況の把握

I-2-1(1)経営環境の変化等に適切に対応している。		評価結果
2	I-2-1(1)-①事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<評価コメント> ・事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 ・園の経営環境や状況については、法人本部及び管理職に報告することで、情報共有・共通認識が図られている。		
3	I-2-1(1)-②経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	評価結果
		a
<評価コメント> ・職員会議、パート会議や管理職との定期面談において経営環境と経営状況の把握・分析に基づき経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		

I-3 事業計画の策定

I-3-1(1)中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価結果
4	I-3-1(1)-①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<評価コメント> ・経営や保育に関する、中・長期の事業計画及び中・長期の収支計画を策定している。		
5	I-3-1(1)-②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	評価結果
		b
<評価コメント> ・単年度の計画は、中・長期計画を反映して具体的に策定されている。 ・単年度における事業内容が具体的に示され、さらに実行可能な計画となっている。		
I-3-1(2)事業計画が適切に策定されている。		評価結果
6	I-3-1(2)-①事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	評価結果
		a
<評価コメント> ・事業計画の策定と実施状況の把握・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 ・具体的には、利用者へのアンケートを行事等に必ず実施し、意見を反映するとともに、記録としてまとめ、職員に周知が図られている。		
7	I-3-1(1)-②事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	評価結果
		b
<評価コメント> ・事業計画は、保護者等に周知するとともに、内容の理解を促すための取り組みを行っている。 ・実施にあたっては、後に保護者等に聴衆・確認を行い、周知の状況も含め確認・把握している。		

I - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I - 4 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価結果
8	I - 4 - (1) - ① 保育の質の向上に向けた取組が組織に行われ、機能している。	a
<評価コメント> ・ケース会議、クラス会議、エピソード記録等を活用し保育内容を振り返るなど保育の質の向上に向けた取り組みが組織的におこなわれ機能している。 ・自己評価や第三者評価等の受審やそのプロセスを職員が理解し、日常的な保育の質的向上に向けた取り組みが進められている。		
9	I - 4 - (1) - ② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	評価結果 a
<評価コメント> ・評価結果を分析し、明確になった組織としての取り組むべき課題について、改善策や改善実施計画を立て実施している。具体的には、教育及び保育の内容並びに子育て支援等に関する全体の計画を作成し、全体の計画を基に指導計画(月案・週案・日案・行事計画等)を担当者が作成し、会議をし、課題、改善を図っていく等「カリキュラムマネージメント」の体制ができている		

II 組織の運営管理

II - 1 管理者の責任とリーダーシップ

II - 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		評価結果
10	II - 1 - (1) - ① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<評価コメント> ・園長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。 ・園長の具体的な取り組みについては、文章化されている。また、組織的に十分伝え、理解を得ている。		
11	II - 1 - (1) - ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	評価結果 b
<評価コメント> ・園長は、園長会や園交流会に参加し、行政から制度改正等の説明を受け、遵守すべき法令の理解を図っている。また関連する研修会に積極的に参加し、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取り組みを行っている。		
II - 1 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価結果
12	II - 1 - (2) - ① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<評価コメント> ・園長は、保育の質の向上に高い意欲を持ち、組織としての取り組みに十分な指導力を発揮している。 ・園長は、具体的な取り組み内容を書面として職員に反映し、自らもその活動に積極的に参画している。		
13	II - 1 - (2) - ② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	評価結果 a
<評価コメント> ・園長は、経営の改善や業務の実効性を高める取り組みとして、指導案のデータ化、保育システムの導入による業務の効率化等事務時間への配慮等を自ら積極的に推進することで指導力を発揮している。		

Ⅱ－２ 保育教諭等の確保・育成

Ⅱ－２－(１)保育教諭等の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価結果
14	Ⅱ－２－(１)－①保育教諭等の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<評価コメント> ・園が目標とする保育の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しており、事業計画にも明記されている。職員には定期的に関き取りを行い、意見を踏まえた育成を計画的に行っている。人材確保については、ハローワークと連携し、見学会を実施したり、学校訪問や就職フェアに積極的に参加するなどの取り組みが実施されている。		
Ⅱ－２－(２)－②総合的な人事管理が行われている。		評価結果
15		a
<評価コメント> ・職員面談、OJT、職員研修、人事考課制度、キャリアパスを整えるなど、総合的な人事管理を実施している。また、職員自らが将来の姿をイメージできるようにするため、職員へ個人面談を通して定期的にフィードバックを行っている。		
Ⅱ－２－(２)職員の就業状況に配慮がなされている。		評価結果
16	Ⅱ－２－(２)－①職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<評価コメント> ・職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。全職員が有給休暇や毎月希望休が取得できるよう勤務作成時に配慮したり、子育て世代が子どもの成長過程に応じて時短勤務を選択出来たり、子どもの急病に対応できるなど、個人の生活に合わせた勤務形態を調整するなど、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。		
Ⅱ－２－(３)職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価結果
17	Ⅱ－２－(３)－①職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<評価コメント> ・園長が職員の個人面談を実施したり、年度当初に各個人で目標設定を行い、それに基づき年度末に自分自身も設定した目標について振り返るなど、職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が、適切に行われている。		
Ⅱ－２－(３)－②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		評価結果
18		a
<評価コメント> ・園として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施され、記録されている。		
Ⅱ－２－(３)－③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		評価結果
19		a
<評価コメント> ・職員(パート職員も含む)一人ひとりの経験や習熟度に配慮した教育・研修の機会が確保され、適切に教育・研修が実施されている。		
Ⅱ－２－(４)実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価結果
20	Ⅱ－２－(４)－①実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<評価コメント> ・実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、計画的な学びに繋がるよう効果的なプログラムを用意する等、積極的な取り組みを実施している。 ・受け入れにあたっては、大学や養成校等の意向や学習内容等について、柔軟な受け入れ体制ができています。		

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

Ⅱ－３－(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価結果
21	Ⅱ－３－(1)－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<評価コメント> 園の理念や基本方針、事業内容や財務等に関する情報についてはホームページ等に掲載するなど、適切に公開している。 ・第三者評価を受けることで改善点を明確にし、より良いサービスの実現に向けて全職員で取り組もうとしてい		
22	Ⅱ－３－(1)－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われて	評価結果
	いる。	a
<評価コメント> ・決算内容を公開し、外部の専門家(税理士)等の活用により経営改善を実施するなど公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みが行われている。また、第三者評価を初受審し、今後は結果に基づく改善と定期的な見直しを実施するための取組が予定されている。		

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

Ⅱ－４－(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価結果
23	Ⅱ－４－(1)－① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<評価コメント> ・法人のホームページ、入園のしおり、教育・保育方針等で地域とのかかわり方に対する基本姿勢を文書化しており、地域のイベントに保育教諭が参加同行したり、わんぱく教室での園開放、見学会の実施など、子育て支援事業を足掛かりに、子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを積極的に行っていく体制が構築されている。		
24	Ⅱ－４－(1)－② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立し	評価結果
	ている。	a
<評価コメント> ・ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が明示されており、受け入れについての体制が整備されている。		
Ⅱ－４－(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価結果
25	Ⅱ－４－(2)－① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<評価コメント> ・子どもにより良い保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関等との連携が適切に行われている。		
Ⅱ－４－(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価結果
26	Ⅱ－４－(3)－① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<評価コメント> ・園が有する機能を、地域に開放・提供する取り組みを積極的に行っている。 ・一時預かりやわんぱく教室など地域の子ども達を可能な限り受け入れ、保護者の育児支援を実施している。		
27	Ⅱ－４－(3)－② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	評価結果
		b
<評価コメント> ・地域の具体的な福祉ニーズを把握し、これに基づく園独自の公益的な事業・活動を積極的に行っている。 ・園として、地域の福祉ニーズに対応する体制ができている。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－(1)利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価結果
28	Ⅲ－１－(1)－①子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<評価コメント> ・利用者(子ども、保護者等)を尊重した保育についての基本姿勢が明示され、組織内共通の理解を持つための取り組みが行われている。 ・子どもを尊重した保育について、理念や基本方針に明示されており、園内数か所に提示されている。		
Ⅲ－１－(1)－②子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。		評価結果
29		a
<評価コメント> ・子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規程・マニュアル等を整備し、ホームページ等に写真や氏名の掲載にあたり、毎年、保護者の同意を得るなど、子どものプライバシーと権利擁護に配慮した保育が行われている。		
Ⅲ－１－(2)福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		評価結果
Ⅲ－１－(2)－①利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。		a
<評価コメント> ・利用希望者が園を選択するために必要な情報を積極的に提供している。 ・ホームページの作成、公共施設へのしおりの配置、見学希望者への対応等、保護者が情報を簡単に入手できるような取り組み、保護者にとってわかりやすい工夫がされている。		
Ⅲ－１－(2)－②保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。		評価結果
31		a
<評価コメント> ・園の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定めた様式に基づき保護者等にわかりやすく説明を行っている。		
Ⅲ－１－(2)－③保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		評価結果
32		a
<評価コメント> ・保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式に基づき保護者等にわかりやすく説明を行っている。 ・個別に説明を希望する保護者に対しては、園長、主任が個別対応等もしている。		

Ⅲ-1-(3)利用者満足の上昇に努めている。		評価結果
33	Ⅲ-1-(3)-①利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている	a
<評価コメント> ・利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を踏まえ、その向上に向けた取組を行っている。 ・利用者満足に関する調査なども、行事ごとに実施し、改善課題の発見や、改善課題への対応策の評価・見直しの検討が職員参画のもと実施している。		
Ⅲ-1-(4)利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価結果
34	Ⅲ-1-(4)-①苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<評価コメント> ・苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。 ・日々の保育の中で、各年齢相応の連絡ノートを活用し、保護者からの要望や意見を常に組織的に対応しながら保育している。 ・意見箱も玄関に設置されている。		
35	Ⅲ-1-(4)-②保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	評価結果 b
<評価コメント> ・利用者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を選択できる環境が整備され、その内容について保護者に伝えるための取組が行われている。		
36	Ⅲ-1-(4)-③保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	評価結果 a
<評価コメント> ・保護者からの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。		
Ⅲ-1-(5)安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価結果
37	Ⅲ-1-(5)-①安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<評価コメント> ・リスクマネジメント体制を構築し、利用者の安心と安全を脅かす事例(ヒヤリハット等)の収集と要因分析と対応策の検討・実施が適切に行われている。		
38	Ⅲ-1-(5)-②感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	評価結果 a
<評価コメント> ・空気清浄機を各部屋に設置し職員、子どもたちにはうがい・手洗いの励行をしている。感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、取組を行っている。		
39	Ⅲ-1-(5)-③災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	評価結果 a
<評価コメント> ・地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、マニュアルが整備され、園で実施される避難訓練も様々な災害を想定したものとなっている。防災頭巾、避難シューズ、備蓄品も保管されており、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

Ⅲ－２－(１)提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価結果
40	Ⅲ－２－(１)－①保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<評価コメント> ・保育について、標準的な実施方法が保育教諭必携に文書化され、それに基づいた保育が実施されている。		
Ⅲ－２－(１)－②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		評価結果
41		a
<評価コメント> ・標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、仕組みのもとに検証・見直しを行っている。		
Ⅲ－２－(２)適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価結果
42	Ⅲ－２－(２)－①アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	a
<評価コメント> ・アセスメントに基づく指導計画を策定するための体制が確立しており、教育・保育課程から年間・月案・週案の指導計画を策定し、様々な子どもの育ちに対して個別支援計画も策定している。		
Ⅲ－２－(２)－②定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		評価結果
43		a
<評価コメント> ・指導計画について、実施状況の評価と実施計画の見直しに関する手順を組織として定めている。 ・指導計画については、提出日を決め、園長、主幹保育教諭が内容を評価し、指導・助言を行っている。		
Ⅲ－２－(３)福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		評価結果
44	Ⅲ－２－(３)－①子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<評価コメント> ・子ども一人ひとりの保育の実施計画の実施状況が適切に記録され、職員間で共有化されている。 ・日々変化する子どもの状況等に関する情報などパソコンのネットワークシステムで確認できるようになっている。		
Ⅲ－２－(３)－②子どもに関する記録の管理体制が確立している。		評価結果
45		a
<評価コメント> ・子どもに関する記録の管理について規程が定められ、適切に管理が行われている。 ・記録の管理として、取り扱いや情報漏えい対策が適切になされている。		

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		評価結果
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は、園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて編成している。 ・保育課程の評価・改善については、保育に関わる職員参画のもと、その状況等について評価・改善を行い、次の編成に生かしている。 		
A-1-(2) 環境と通して行う保育、養護と教育の一体的展開		評価結果
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活にふさわしい場として、子どもが安心して、くつろぎ、心地よく過ごすことできるよう、採光・換気・室温に配慮するなど環境を整備している。 ・全職員が常に環境を整えるという意識のもと清潔で安全な環境に配慮している。 		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもを受容し、子どもが主体性を活かせるような気持ちを尊重し、自分でできた達成感を持てるような言葉がけを保育教諭が共通理解のもとで行ない、可能な限り一人ひとりと会話できるように努めるなど、子どもの状態に応じた保育や援助を行っている。 		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 ・一人ひとりの子どもの発達に応じた適切な環境構成や援助が行われている。 		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びが豊かに展開される保育の取り組み・工夫をしている。 ・乳児、3歳未満については、一日の保育の中で、子どもが主体的・自発的に活動できる環境が整っている。 ・3歳以上児等は発達に応じた、子どもたちの主体的・自発的な活動が保障され、集団保育や異年齢保育、個別対応等が展開されている。地域の環境や園を取り巻く環境を理解し、社会性を育む工夫もしている。 		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達過程に応じた養護と教育が一体的に展開される適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 ・生活面の自立に向けて、毎月のお便り配布や日々の連絡ノート、送迎時の声掛けなどで家庭との連携した取り組みを実践している。 		

A⑦	A-1-(2)-⑥ 3才未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の保育については、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針の内容を基に、養護と教育が一体的に展開されよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮して、自分のやりたい気持ちを尊重し、側で見守りながら自分でできる事ができるようにしたり、玩具の取り合いなどは、双方のこどもの気持ちをくみとり、子ども自身で自発的に言葉で伝えられるようにしている。 		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上児の保育については、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針、幼稚園教育要領を基に、養護と教育が一体的に展開されよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 ・自己を十分発揮し、協同的な活動の展開として異年齢児との関わりを重視した異年齢保育等も展開している。 		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 ・職員が障がいのある子どもの保育に関して必要な知識や情報を得るために、研修を受けたり、園全体で定期的に話し合う機会を設けるなどの取り組みを組織的に行う体制ができている。 		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	評価結果
		b
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮して、延長保育時は異年齢で好きな遊びを楽しめるように配慮したり、低年齢児がゆったりと過ごせるためにパーテーションを活用し、空間を区切るなど、場面に応じて環境づくりを工夫している。また、各クラスの引継ぎノートを活用し、子どもの状況等を共有し、送り出しの際に、保護者に状況共有している。 		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校等との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校体験入学やオープンスクールを通して小学校との連携を行い、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、個人面談を通して保護者との関りに配慮している。小学校や他園との就学連携や連絡会に積極的に参加し、情報交換や情報共有に努めている。 		
A-1-(3) 健康管理		評価結果
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康管理を適切に行っている。 ・健康管理に対するマニュアル、計画、記録等、健康管理の実施体制・実施状況が適切に行われ、結果について保護者に周知するとともに、子どもの健康に関する必要な情報提供を行っている。 		

A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	評価結果
		b
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科検診、歯科検診は年2回、尿検査(3, 4, 5歳児)年1回、視覚検査、聴力検査(3, 4, 5歳児)年2回実施している。検診結果は保護者に伝えている。 ・保護者が子どもの状況を理解し、日常生活に生かせるよう保護者への連絡を行っている。 		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に備えて、常備薬を保管し、緊急時には使用できるよう使用方法を全職員が周知し、管理している。 ・アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行うとともに、除去・代替え食提供時には、栄養士・園長・保育教諭のトリプルチェックを実施している。アレルギー児の情報共有は全職員を対象として、アレルギーに関する研修も実施している。 		
A-1-(4) 食事		評価結果
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児には前期・中期・後期・完了期等保護者と連携しながら食事を勧めている。食に興味を示すように手づかみ食べ支援を行っている。 ・子ども達が食事を楽しむことができる環境の整備と取り組み、工夫、家庭との連携をしている。 ・お弁当箱に給食を詰めて出掛けたり、青空ランチをしたりと日々の食事に変化をつけたりして楽しく食事をしている。 		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供するための献立や食材の地産地消に心掛け、旬の食材を使用し、調理等の工夫を月1回の給食会議にて委託業者と話し合う場を設けており、個々の健康状態などに合わせたメニューの量を加減し、完食する喜びを感じられる工夫や給食だよりの配布など楽しみを感じて食事できるよう配慮している。 		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		評価結果
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0・1・2歳児は連絡帳、3・4・5歳児は玄関の掲示板で、その日の子どもの様子を写真等を使い、保護者に伝えている。 ・日常の生活や行事等を定期的にブログで伝えている。 ・保護者参観や保護者保育参加等で子どもたちの園での様子に直接的に関わる機会を設けている。 		
A-2-(2) 保護者等の支援		評価結果
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 ・具体的には、日々の送迎時対応の中で気軽に相談できるような雰囲気にも努めている。年2回の個人懇談、またわんぱく教室等の地域の保護者に対する子育ての相談等体制を整えている。 		

A⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の防止に努めている。	評価結果
		a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 ・虐待等権利侵害に関する基本知識等の職員の研修会参加や、家庭での虐待等権利侵害の早期発見・早期対応について全職員が継続的に意識し、日々の視診等怠ることなく常に注意している。 		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育教諭等の自己評価)		評価結果
A⑳	A-3-(1)-① 保育教諭等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><評価コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、職員会議、ケース会議、エピソード記述、園内研修を通じて意見を出し合い、共通理解のもとに計画、実施、評価、見直し、改善するなど、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 		